

第 2 回日野市教育委員会指定管理者候補者選定委員会議事要点録	
日時	平成 20 年 8 月 11 日（月）午後 1 時～午後 6 時 00 分
場所	市役所 4 階 庁議室
出席者	佐藤委員長、貴志委員、鈴木委員、鶴岡委員 小川総務部長、高橋企画部長、栗原教育部長、佐野教育部参事
議題	日野市民プール・日野市立グラウンド等の指定管理者候補者プレゼンテーション 1．施設概要説明、採点表の説明 （１）日野市民プール （２）日野市立グラウンド等 2．審査 1（日野市民プール：シンコースポーツ株式会社） 3．審査 2（日野市民プール：A 社） 4．審査 3（日野市立グラウンド等：B 社） 5．審査 4（日野市立グラウンド等：テルウェル東日本株式会社） 6．審査 5（日野市立グラウンド等：C 社） 7．その他
議題 1	施設概要説明、採点表の説明 事務局（文化スポーツ課より） （１）日野市民プール 応募者 2 社のため、プレゼンテーションの実施。 日野市民プール（応募団体による説明 20 分、質疑 10 分、採点 10 分） （２）日野市立グラウンド等 応募者 3 社のためプレゼンテーションの実施 日野市立グラウンド等（応募団体による説明 20 分、質疑 10 分、採点 10 分） 日野市民プール・・・文化スポーツ課長より説明 文化スポーツ課より施設の概要及び採点表の説明 日野市立グラウンド等・・・文化スポーツ課長より説明 文化スポーツ課より施設の概要及び採点表の説明
議題 2	審査 1（日野市民プール：シンコースポーツ株式会社） <シンコースポーツ株式会社> 事業計画書によるプレゼンテーション = 主な質疑 = （日野市民プール） 【質疑】

	(質問) マルチジョブの考え方と、要員配置計画について説明してもらいたい。 (回答) 弊社の考え方は監視員が受付・駐車場や渡し船もやることです。泳げない人を監視させるようなことは一切しない。 (質問) どう担保しますか。 (回答) 普通救命は、消防等に受講させる。また、資格を持っている人を積極的に採用します。資格を持っていない場合、弊社には指導員、日本赤十字法を含めて指導員を揃えていますので指導員が研修をします。 (質問) 人員配置の計画で人数が22人でどういう資格を確保しているのか。 (回答) 日本赤十字安全法の救助員に定められるものには、総括責任者、救助員、監視員チーフまでは全員です。 (質問) 普通救命技能認定を出すのはどこですか。 (回答) 普通救命技能に関しては、東京では東京消防庁です。 (質問) 採用時に資格を持っている人しか取らないのか、持ってなかったら開始前までに受講させるのか。泳力をどうやって見極めるのか。 (回答) 普通救命は、持っていない人はオープンまでに消防署に受講させます。泳力は泳力検定を必ず実施していく。これらにより監視させる人させられない人は受付となります。 (質問) 会社全体として大小併せて事故の経験は何かありますか。 (回答) プールでの事故ゼロを目指しているが現状では難しい状況です。疾患としては、くも膜下や心臓です。泳いでいる途中で沈んでいくことは、大小の施設であります。そのような救助経験は毎年何件か出ます。 (質問) 高齢化の時代で高齢者の事故の対応が見当たらないが、スポーツをやる時には、血圧を計るとか見られないが、それをどう民営に生かされるか。 (回答) 疾患でなくても、些細なことで転倒する可能性は充分にあります。プールサイド・シャワーのところで話かける。温水プールと違い全員が血圧を測ることは、現実的ではないと思います。シャワーの入口にお客様をチェックする人がいるので、事故が起こりそうだとか、具合が悪くなりそうだとか把握してすぐにチーフ責任者に伝える体制をとります。 (質問) 監視員が入口でチェックして、危ないかどうか判断するのか。 (回答) 話の中で、具合の悪い人や体調の悪い人や、血圧は大丈夫ですかと、積極的に声をかけるようにしている。 (質問) 受付でチェックするという意味ではありませんね (回答) たりなかった貴重なご意見としてとりいれます。市民プールは浅くなり、深さに対しての溺れは非常に頻度が少ない。民間の施設でも高齢者に対してはプールの中というよりプールサイドや更衣室等の事故のほうが多い。今回提案ので
--	--

	は血圧計の記載がないが、民間の施設に関しては、血圧計を必ずおいてあります。民間としては同意書を書きますが、公共施設は同意書を書くまではなかなかいってないので血圧計ぐらいしかない。委託業務を主にやっていましたので、熟知していると思うのですが、良さが出る反面、逆にマイナス点もあると思います。 （質問）カメラ付携帯電話による盗撮で、過去にあったかどうか持込は禁止しているのか、トラブルのときはどうするか。 （回答）市民プールは携帯持込禁止です。大きなプールでは、どうしても携帯を持ち込みたいということでもめますが、ほとんどは禁止をしております。 （質問）自主事業と、地域と連携して具体的な計画がないか。 （回答）地域との連携に関しては、地域住民の方々の話を聞くことと思います。私どもでは協議会を作ってお話を聞く場を設けさせていただき積極的に聞いていきたい。サービスとして健康マネーをつくり商店と連携して行っていきたい。水の中で遊ぶことも大事なことで、昔のプールのようになんでもダメという時代ではないと思います。水の中に浮島を浮かべ安全を確保しながら、遊んだりボールを使ってもらい遊び場を積極的に提供していきたい。 （質問）夏場だけの施設を年間通じて活用出来るようなことを考えているか。 （回答）釣堀や、幼児プールには柔らかいボールを敷き詰めてのボールパーク、プールの水を抜いてインラインスケート場にするなどの提案をもっていますが費用対効果の問題になるため今回の提案書にしていない、コスト的な解決がつけば十分いろいろと出来ると思います。 （質問）駒形の渡しをもっと活用する方法はないか。 （回答）映画やテレビ撮影とか来ています。なかなか風光明媚な場所なので、積極的に使っていただいて、たとえば高幡不動を見に来たら渡し舟を渡って日野まで帰るコースとか、地域の名所と結びつけるような事業計画があります。 （質問）駒形の渡しについて、川の増水とかで危険なため、その対応とか想定はありますか。 （回答）天候に関しては鉄砲水、プールでは雷、光化学スモッグの問題もあり危険な状態に陥る可能性があると思うので、インターネット接続を経費に盛りこませました。常時リアルタイムでインターネット等を通じて天候を常に把握し、危険を感じたり雨が降ってくるのが見えたら、注意を呼びかけたり運行をやめるなど、情報がオンタイムで入ってくる体制をとりたい。 （質問）5年間やって、こういう情報のときに、こういう対応というマニュアルはありますか。 （回答）はい。 （質問）指定管理者になった場合、夜間などの無人のときに、人が入って泳いで
--	---

議題 3	いる等の一報が市の当直に入ったときの対応は。 （回答）常駐での警備が一番いいことは認識しています。しかし、コストが掛かることによって市の財政を圧迫することになるので、従来通りの機械警備を設置する予定です。また、弊社には日野市民や近くに住んでいるものが多いので、緊急連絡先を近くに住んでいる人にし、機械警備会社より早く現場へ到着できるような体制を整えていきます。 （質問）施設上の欠点を簡単に、リスクにつながるような欠点があるか。 （回答）一言で言うと段差、階段です。ノンステップ加工はあるが、更衣室から着替えてからプールに出るには、男性の方は階段を上がる、女性の方は階段を下りる状態です。 【採点】 （委員）体制とか研修について書いてあるが確認しているか （事務局）委託契約で仕様書に載っている資格や体制は確認をしながらおこなっている。 （委員）採点表についてしますか。 （事務局）採点は各自がおこなっていただきまして、全体の調整があればこの場でお願いします。 （委員）プールの事故は、利用する人の自己責任なのかね。 （事務局）一般的には自己責任と思います。注意事項も掲示されていると思います。指定管理で行う場合も注意事項を掲げるべきだと思います。 （委員）病気になったとか応急対応は、 （事務局）その場で行います。 （委員）場の提供では済まされないかと思いますが、事故があったら入れたという責任は問われるのでは。 （委員）基本的には自己責任と思います。 （委員）19年度まで委託していたが20年度変わった理由は。 （事務局）競争入札で変わりました。 審査2（日野市民プール：A社） < A社 > 事業計画書によるプレゼンテーション = 主な質疑 = （日野市民プール） 【質疑】 （質問）経費の関係で、水道料金と電気料金を具体的に減らす提案が見当たらないが、その辺は何か。
-------------	---

	(回答) 水道水の使用については利用者の方に協力を促し削減していく。ソーラーは3ヵ年間の指定管理者の中では、費用対効果を出すまで行かない状況です。市と協議して可能であれば提案をしていきます。 (質問) 電気の方が家庭では販売できるような状況ですから、電気については、そろそろ組み込んだ提案があればと期待はしましたが。 (回答) 提案はしていませんが、今後充分検討していきたいと思います。 (質問) 運営を外注業者に委託するが、その体制でA社はプール責任者を常勤で置き、外注業者のほうにもプール責任者とは別に22人置くということですか。 (回答) プール責任者は兼務になりますが本社に置きます、外注業者でも責任者を出します。 (質問) プール責任者の一人も含めて22人考える。 (回答) 私どもの社員は含んでなくて22人です。 (質問) 含んで無い (回答) はい (質問) 収支計画書の中に人件費の50万円はどういう経費ですか。 (回答) 本社のプール担当者は兼務ですが、これをサポートさせようと思います。 (質問) プール責任者の経費でなく、プラスアルファの職員を当てるということですか、その場合プール責任者の経費は収支の支出の中に入ってきていない。 (回答) 当社本体で、見るとなると指定管理料があがってしまうので、それに伴う経費については当社全体の中で対応していきます。その一部50万円の支出を計上しました。 (質問) 地域との協働や連携に関してどうお考えですか。 (回答) 地域と連携することは充分理解しております。現在の市民プールだけでは利用客が増えることは現実には難しいと考えます。周辺の浅川、ドックラン、リトルホース、公園、地区センターという面的な広がりの中でお客の集客性を考えていかないと、市民プールの利用客が増えないので。その延長線上に地域の自治会、育成会や青少年の団体がありますので、そういう団体や自治会と連携をしながら、利用客増を図っていきたい。指定管理者の3年間の中で充分考えていきたいと思います。 (質問) ドックラン施設との連携、イベントアイデアは検討中ということですが、この中で駐車場とドックランとプールを通路で結んで行き来できるように、となっていますが、プールに入場中はペットをどう監視するか聞きたい。 (回答) 具体的に固めていませんが、プールを利用する方に支障の無い指導をしなければならないと思っています。ドックランの施設と一緒に遊びにくるなかで、ドックランのイベントを見ながらそのうち数人がプールの利用客と考えていま
--	--

	す。 (質問) 市民プールの運営にあたって、環境への取り組み配慮はありますか。 (回答) 弊社としてもCO2の削減等については具体的にいろいろ取り組んでいますが、弊社としていろんな施設を管理しており、具体的には裏紙使用とか最低減の環境の配慮と思い、各施設管理に弊社としても取り組んでいきます。 (質問) 要員一覧と研修計画とがあるが、職員とは何か良くわからないが、実際携わる要員をどう研修して事故や接客対応にあたるのかがこの資料をではわからないので説明してください。 (回答) 職員研修計画ですが、弊社の正社員のスキルアップを考えての職員の研修計画です。弊社は現在の職員が正式勤務員4名、それ以外は嘱託職員であり臨時等の契約社員ということで各施設を管理しています。各年度にあわせてスキルアップの研修計画で管理のエキスパートに育てたい。具体的には施設管理の要員になりますので、別メニューの施設管理に係わる研修計画をおこないます。 (質問) 収支計画書で指定管理料が結構高い。収入のところでこれだと今までの委託料と変わらない。実際に指定管理の契約で指定管理料がこれより少なくなったときに、どこを削り調整するのか。それによりサービスの低下が心配です。これで大丈夫ですか。 (回答) 人件費、需用費、役務費は個々に提示してある金額になると思います。委託料のうち運営業務委託料 1,350 万円で提示しました、それ以外の委託料については付帯経費になります。委託料の運営業務委託料はほとんどが人件費になりますので、要員 22 名で2ヶ月間運営するには弊社の積算で精一杯です。それ以外に弊社で経費削減をするなら、諸経費の部分で約 200 万のうち 100 万にするとか会社としては出来ますが管理の質を落としてしまうと考えております。このことについては検討させていただきます。 【採点】 (委員) 今までの委託料より3%減となるというが、委託料がわかれば。 (事務局) 委託料として、2517万円です。 (委員) 小修繕は50万円も入っている。 (事務局) 入ってきます。指定管理になると駒方の渡しも入ります。 (委員) 収入も入ってくると思うが。 (事務局) 収入として330万円ぐらいになります。 (委員) 業務委託料が外注業者に該当するでしょう。 (事務局) 業務委託は外注業者以外に水質検査・機械警備委託等もあります。 (委員) 外注業者に出て行くことについてイコールと思いますが。
--	--

議題 4	審査 3（日野市立グラウンド等：B 社） < B 社 > 事業計画書によるプレゼンテーション = 主な質疑 = （日野市立グラウンド等） 【質疑】 （質問）自主事業や人員を削減の経費削減について説明をお願いします。 （回答）仕様書がきちんとなっっていますので、提案しようが無いと捉えた。事業計画書で触れてないのは、具体的に仕様書が決まっているため、経費の削減は出来ない。運営をしながら改善の提案を市と協議しながら進める。指定管理者の経験が無いので実際に確認しながら学んでいく。 （質問）50 万未満の修繕費は、指定管理者によるものとなっているが。 （回答）事業計画書で検討しなければと思っています。実際に積算し 50 万以内に納まるか、今ご返事が出来ないのので提案を出させていただき協議する。 （質問）受付業務はシルバー人材センターの委託ですが、弊社の一番の強みは何ですか。 （回答）建設業、土木業や下水など各種の業務が出来ます。人も沢山いますので何かあったときの輪のような形で対応は早く、地元であることが両強みです。 （質問）安全に関しての定期点検の計画、地域や関係機関ボランティアとの連携について教えてください。 （回答）具体的に安全に関して事業計画の中には載せてない。指定管理者に指定された場合は、建物管理・衛生計画・安全計画・研修計画をすばやく立ち上げ提示できるよう対応します。また、ボランティア・関係機関との調整は熟知してない部分があるが、連携もすばやい対応で計画書を作ります。 （質問）指定管理者になる施設を見て回りましたか。 （回答）私と事務長の方は見させていただきました。 【採点】 （委員）提案書は受けとっただけですか。 （事務局）提案はそうです （委員）ある程度ディスカッションはしていないの。 （事務局）ありません。 （委員）これではこの場にのらないでしょう。窓口審査は審査しないの。 （委員）こういうことを審査することは言ってますか。 （事務局）要項の中にあります。 （委員）最低限度の窓口審査はしてないんですか。
------	--

議題 5	(事務局) 窓口審査はしていません。この場がその場なので。 (委員) あの回答では、審査のしょうが無ない。 (委員) その結果を見て審査をすれば。 (事務局) 事務局で審査すると優劣を付けてしまう。 (委員) 今の回答では審査のしょうが。 (委員) 要員配置計画など書ける書けないをはっきりしてもらって。 (委員) 充分ではないが要因計画はあります。 (委員) 求める資料に具体性が無い。審査できるようでない資格が無い。 (委員) 事務局で誘導になりはしないか心配もある。 (委員) もう少し審査できるものを出してもらえないと (事務局) 要項に同じ形で出していますので、出ないのは会社しだいです。 (委員) 審査項目に「まったく要件を満たしていない」とありますのでこのへんで採点しましょう。 (委員) 公平性でいけばもう少し具体的に、同じ土俵に乗せないで。 (委員) あまりにも提案が多いのもありますけど。 (事務局) 申請書について多い少ないがあります。次回に向けて参考意見とさせていただきます。 (委員) 具体性ですよ。具体性を持って書けばいい。 (委員) 提案書が何度も同じものも出てくるが、考えていただかないと。 (委員) 様式に何を書くか、具体的に記入するように。 (事務局) 要項に審査項目もあります。 (委員) 要項に記されているんなら、資格が無いんでは (委員) それを含めて審査をしていただければ。 審査 4 (日野市立グラウンド等：テルウェル東日本株式会社) <テルウェル東日本株式会社> 事業計画書によるプレゼンテーション = 主な質疑 = (日野市立グラウンド等) 【質疑】 (質問) 複合的な体制で対応となっているが、収支計画書の中で人件費が出てこないがどうなっていますか。 (回答) 人件費は項目の中にはありません。センターという施設、この施設に抱えている人材を活用して日野市に求めることなくやります。今いるスタッフが足りない場合は手当をします。それは弊社の経費の中で対応します。 (質問) 利用者を増やすという方向は。ひとつ大きな柱ですが、どういうふう
-------------	--

	利用者を増やしていくのか。 （回答）事業計画書に記しましたが、他の体育施設の中でも利用者が伸び悩んでいます。運動を楽しんでいただき利用者を増やしていく。市民に楽しく使ってもらうために、いろんな切り口を切っていく必要がある。誰でも楽しめるようなスポーツを紹介し、無料講習会を提案し、楽しく使っていただく考え方です。 （質問）シルバー人材センターが大部分を占めているが、本社は何をするのか、現場はシルバー人材センターですが、その使い方とイメージを説明してください。 （回答）委託をする際にシルバー人材の方には、弊社の考え方でやっていただきます。窓口の方は、弊社の名札をつけていただく。弊社の顔としてやっていただく。違う文化を究明しなければと思います。弊社は、日野市に根付いて日が浅いので、市民の声が耳に届かない、吸収できない部分がありますので、目となり耳となっていただくのがシルバー人材の方々です。サービスセンターではこういう声があったら、具体的に考えていくと言う役割で考えています。 （質問）指定管理をしている分の一部をこのグラウンド管理に当てるということですか。 （回答）人員配置の基本イメージに書いてある部分で、複合業務化を徹底しスタッフ全員がグラウンド業務に従事すること、弊社としては、一人が仕事1ではありません。仕事を一人でいくつも持ちます。ただし、その業務に対する責任者は明確にしてセンター長であります。総括責任者です。それ以下の人も全員がグラウンド業務も自分の仕事としています。 （質問）具体的に現在の要員というのは何人でしています。 （回答）6名です。常時2から3名います。いるようにしています。 （質問）このプレゼンしていただいた分を指定管理者になっても6名ですか。 （回答）現在の体制を基に人員を充実していきます。業務や仕事のボリュームが計りきれないので記していない。ただし、人員については用意があります。 （質問）そうすると今まで100万かかかっていて、その人がグラウンドの仕事がすこし入ったとなると100万のうち10万ぐらいこっちの費用として見なければと思うが。 （回答）弊社は、グラウンドが隣接しているセンターの点検をする際にグラウンドの方も見てくる、そういうことは充分業務としては可能と思います。なおかつ近隣の方々とのコミュニケーションも諮れます。そこは100万の部分のこっちのほうにすることではなく、効率的にするのが弊社の考え方です。これを実施することによって、日野市様の財政に少しでも貢献できればと考えます。業務分野が違ふことによって収支の根幹が変わるわけではないと思うのですが、実際センターのほうは弊社が人件費を持ち出しでしています。
--	--

	(質問) 募集要項の予約システムの関係で貴社だと安くなるとかは。 (回答) 別々になっていきますのでこれはなりません。 (質問) シルバー人材センターを使う場合に賃金単価は守っていただける。 (回答) 依然同じようなケースがありますが、弊社の提案でさせていただいた金額のほうが高くなりました。私どもの基準に従って提案しますので、決してたぶん低い金額にならないと思います。 (質問) 公平という問題が大きな原則ですが、提案にもあるように公平の原則として先着順が記載されているが、ここに至ったことについての考え方を教えていただきたい。 (回答) 思考錯誤ですが、最後の最後、納得していただけるのが、経験からすると、先着順が一番利用者に納得していただけるのが弊社の経験です。ということで今回提案させていただきました。 【採点】 (委員) 人件費の件で、部署の違いなので、分けないとおかしいのかと思いますが。 (委員) 地区センターも出血サービスでやっています。 (委員) 長い目でみると好ましくはないのか。 (委員) 会社一体で見ると人件費が出てこない。他と比較すると同じレベルでなくなる。 (委員) まとめて指定管理を出したほうがいいのでは。 (委員) 市の組織の縦割りで、指定管理を出しているのが難しい問題がある。 (委員) 近くにあるのをまとめて指定管理者に出せないか、今後の課題で。 (委員) 将来的には地域ごとに出すとか。 (委員) 人件費を10分の1でも出ないと、人件費が無いのはおかしい。 (委員) 更新施設については、人件費も出てきますね。 (委員) 各社のノウハウも市に蓄積されて、指定管理を出すように。 (委員) 丸投げではないですね。 (委員) 指定管理を会社の名前を使うことに問題は無いんですか。 (委員) シルバーは派遣ですね。 (委員) テルウェルの名札を付けるから業務委託ではなく人材派遣に近いのか。 (委員) 派遣に近い形になっている。 (委員) シルバーの使い方としては、市から見たときどうですか (委員) 高齢者の就業支援としては。 (委員) テルウェルが直接指導ということで、法律的にちょっと危険。 (委員) 一度調べておいたほうがいいと思います (事務局) 登記簿を確認したが登記簿に日野市の記載が無いのでテルウェルの賃
--	---

議題 6	貸借契約書を添付しました。 (委員) 事務所が無いんですよ。 (事務局) N T T の事務所が無いということですよ (委員) そうです。 (事務局) 子会社です。 審査 5 (日野市立グラウンド等 : C 社) < C 社 > 事業計画書によるプレゼンテーション = 主な質疑 = (日野市立グラウンド等) 【質疑】 (質問) 陸上競技場の管理運営している社員の方はどういう方ですか (回答) 臨時社員で 4 名雇用して、ローテーションで毎日 2 人が勤務しております。 (質問) シルバー人材ですか。 (回答) 弊社の社員です。 (質問) 多摩川グラウンドや万願寺のグラウンドの駐車場があまりよくないですが、整理する予定とか計画に無いですか。 (回答) 施設の駐車場を作る場合には、その地域との調整していかなければならない。芝生も比較的きれいな、ある程度一定の高さの維持管理をすることが大切だと思います。 (質問) 利用者の増に対する施策で、利用料金の優遇策と利用者の安定的な増加の基本的な方向性を具体的に教えてください。 (回答) 利用料金は、もう少し具体的なものを考えて行きたいと思います。グラウンド施設利用者 19 万人、テニス施設利用者 7 万 5 千人を達成するには非常に厳しいと思います。施設を見ましたが、多摩川のグラウンドというのがほとんどわからない状態です。施設を広告主として日野市の収入確保を考えたいと思います。広告料を利用料金の優遇策に回し、具体的に収益が上がるか対応していきたいと思います。 (質問) 病院の駐車場を使われて困るが、自転車で来た人にポイントとか、割引するとか、駐車場管理を徹底していくとかありませんか。 (回答) 維持管理はシルバーがリスク管理していますが、動ける幅が少ないこともある。各団体とキチット協議しながら進めないと難しいかなと思っています。 (質問) 計画書に新しい提案もあるが、収支計画書に 21 年度に工事請負費、百五十八万五千円入っていますが、50 万以上については市の方でやるのではないか。
------	---

	(回答)仕様書に多摩平テニスコートは隔年整備するということが書いてありました。21年23年はこの金額を入れてあります。実際はもう少し安くなると思いますが、数字が明確に入っていたので入れました。 (質問)指定管理者になった場合に、現場はシルバーがしますが、指定管理者として何をやりますか。 (回答)狭い範囲ですが、利用者をふやすこと。広告。たとえば多摩川グラウンドの根川の河川敷のところなどを計画し考えて収益を上げていく。視覚的に天然芝であれば常に一定の状態で刈り込み、利用しやすさより、利用してみたいというような管理をやっていきたい、そういうことで利用者が増えてくる。 (質問)自主事業でサッカー、野球、テニス以外に、グラウンドゴルフの講習をやるとか、テニスの場合は子供対象の教室とか計画は立てられませんか。 (回答)グラウンドゴルフについては考えていきたい。利用されている団体と折り合いをつけて、多目的な利用をしていかないと、利用者が増えませんかので今考えてはおります。 (質問)事務局に聞かないとわからないが、予約システムの3箇所では浅川スポーツ公園と多摩平・七生自然学園とあと5階にもあるが、そのア・ウの費用を見込むことと、普通の場合はウだけでというのは想定として3箇所については既存のものを使えば出来ますよ、指定管理者のほうで事務所を持っていれば事務所で受付しなきゃできませんよということですよ。 (回答)予約システムは、サーバー箇所ですからどこでも出来ます。本社に、大元の端末を置かないと管理がたぶん出来ないだろうということで乗せました。 (質問)そういうことは、ア・イ・ウというのは、必ず請求しなければ無理だね。 (回答)その件で質問がありましたので、各団体には質問事項としてア・イ・ウを乗せなさいという形で出しました。 (質問)仕様書の書き方が違うということ。 (回答)誤っていました。 (質問)運用支援費用と端末の増設費用が必要ですよ。設置する場合はとあるけど、選択性があるなとア・イは設置しないとできない、必要条件ア・イの金額は載ってなくてはだめですか。 (回答)弊社も多少疑問があるが、皆さんにサービスする視点で、これらの機能を持っていないとサービスするには難しいと思い計上しました。 (質問)3箇所でもやる、本社でやらないとしても、もともとのサーバー無くては3箇所あってもできない。 (回答)サーバーは日野市ので、基の管理は文化スポーツ課で残ります。 (質問)それでは、本社の受付に無くても。
--	---

	(回答)出来ないことは無いです。浅川スポーツ公園グラウンドとかでやれば。 (質問)窓口はシルバーさんがやるからいらないと見たのか。その会社の事務所に置かなくてもいいと読んだのか。 (回答)ア・イ・ウを必ず載せるのは、問い合わせがシルバーでなくて、指定管理者に来て、画面を見ないと説明が出来ない、予約が埋まってる、空いているで、本社に一台端末を入れてくださいと書いてある。 (質問)ア・イは必ず入れろ、数字はあげなさいよという意味で書いてある。 (回答)はい。 (質問)特に天然芝の管理を徹底しますとなっていますが、収支計画書の中に芝刈り機の名目は載っているが、金額がゼロになっている理由は。 (回答)現場説明のときに市のものを貸していただけると言うことと、弊社も芝刈りは持っているのでこれを使います。 【採点】 (委員)仕切りのおすことは出来ないですかね (事務局)予約システムについて、質問で要項の一部を換えてます。 (委員)反映されているわけですね (事務局)はい。説明会に参加した団体には出しております。 (委員)やらない危険性がある。抜けてる場合には抜けてるという意思表示をしてもらわないと。 (事務局)協定書を結ぶ段階で話をつめますので。もう一度事務局を通して業者に確認することはどうでしょうか。 (委員)職員の人員配置が本社の人間だけで良くわからない。 (委員)シルバーがやっている分は、そこを使うのが前提ですね。 (委員)〇〇社に委託しか書いてなく、それでいいの (委員)研修と書いてあるが本社の人は一人ですね。 (委員)要員配置計画をここに書きなさいとなっているのに書いてない。 (委員)もう一回戻すのは無理 (委員)現実的には無理ですので、追加提出で。 (委員)今までと現場は変わらないですね。 (事務局)そうです。地域、ボランティア等をそのまま指定管理に移行しくことになります。 (委員)予約システムの部分の経費の確認は (事務局)通知は全部に送っています。 (委員)収支計画に落ちているかわからないので、確認を取ったほうが。 (事務局)確認を取っていきます。
--	--

	(委員)今日は、採点は出せない。 (委員)いろいろ関係してくる。 (事務局)予約システムの関係を確認とって前もって報告します。 (委員)この後の段取りは (事務局)この後は他の施設のプレゼンを行って、採点一覧を作成し9月の2日に調整をしてまとめを行いどこの業者にするか決めます。9月の2日に最終で決定していく。 (委員)合計点が出る。 (事務局)項目ごとの点数、合計点数、平均点も出る。 (委員)まとめのときにまとめて出していただいたほうが。 (委員)2日に採点を出して、まとめて調整しては。 (委員長)時間になりましたので終了します。 (事務局)予約システムについては確認を取ります。 次回は、8月22日です。
--	--